

三井物産株式会社 IRセミナー



MITSUI & CO.

2023年3月
三井物産株式会社 IR部
証券コード:8031

7つのオペレーティング・セグメントから構成される事業分野

◆ 様々な事業での知見や機能を組み合わせることで、より高い価値創造に挑戦



常世田 円（とこよだ まろし）

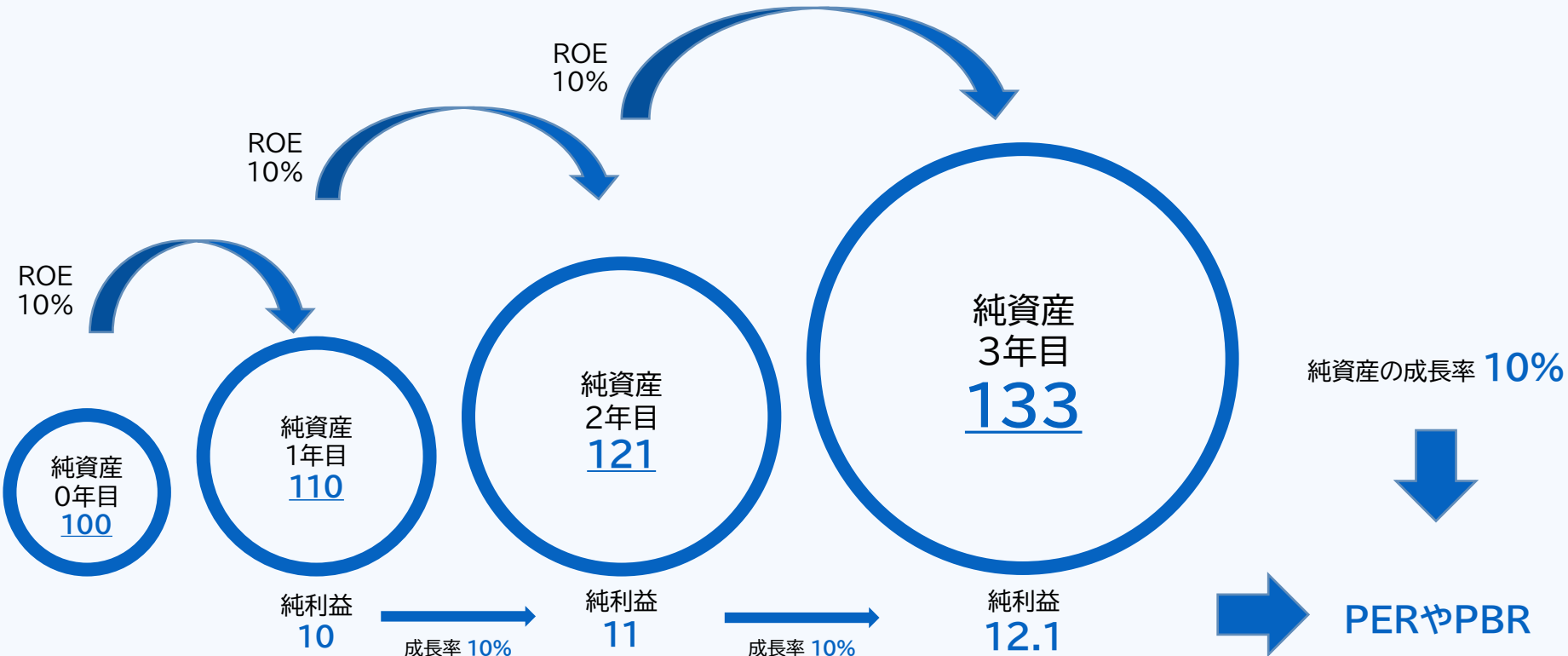
1991年三井物産株式会社入社

機械経理部、自動車第一部、米国ビジネススクール（MBA）
三井物産企業投資（出向）を経て

2005年 米国三井物産金融市場課GM
2009年 M&A推進部企業アドバイザー室長
2012年 企業投資部長補佐
2017年 企業投資部長
2020年 事業統括部投資総括室長
2021年 ウェルネス事業本部長補佐
2022年4月 IR部長就任
2023年4月より モビリティ第一本部長

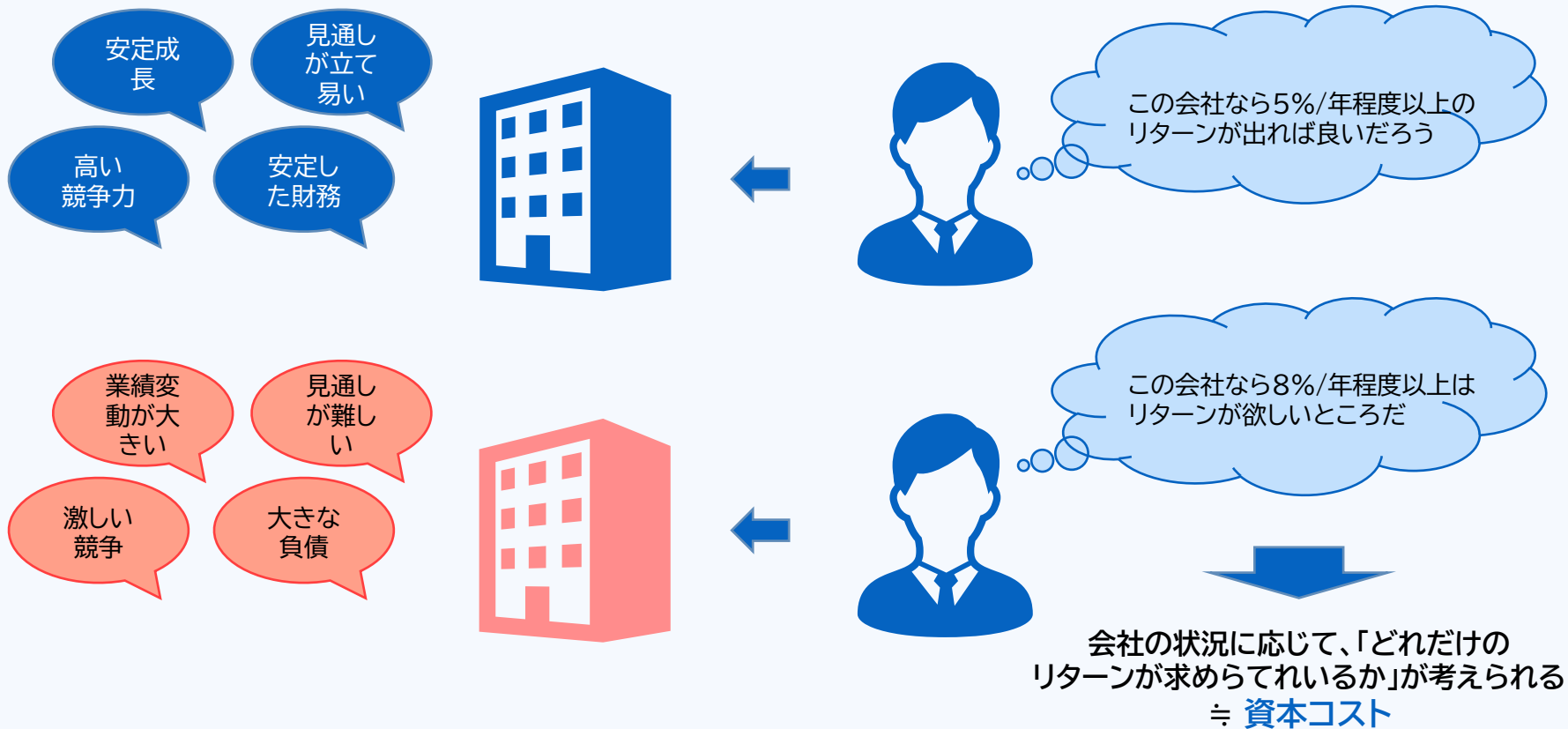


ROEは純資産の成長ペースに等しく、利益の成長率にも繋がってる
結果として、ROEはバリュエーションに影響を与える重要な要素になっている



| TIPS: 資本コストの概念

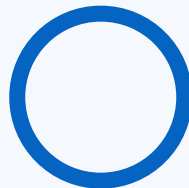
「どれだけのリターンを求めるか？」が資本コストであり、資本コストは投資家側の企業に対する認識によって変化する



重要なのは「資本コストを上回るリターン = ROE」を出すこと（出すと期待されること）

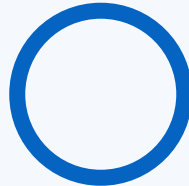
PBRが1倍超の企業は価値を生み出しているが、PBRが1倍割れの企業は期待より十分な価値を上げていない=価値を毀損しているとされる

資本コスト
5%
ROE
7%



期待していたよりも
リターンを出せている

資本コスト8%
ROE 10%



期待していたよりも
リターンを出せている

資本コスト
8%
ROE
6%



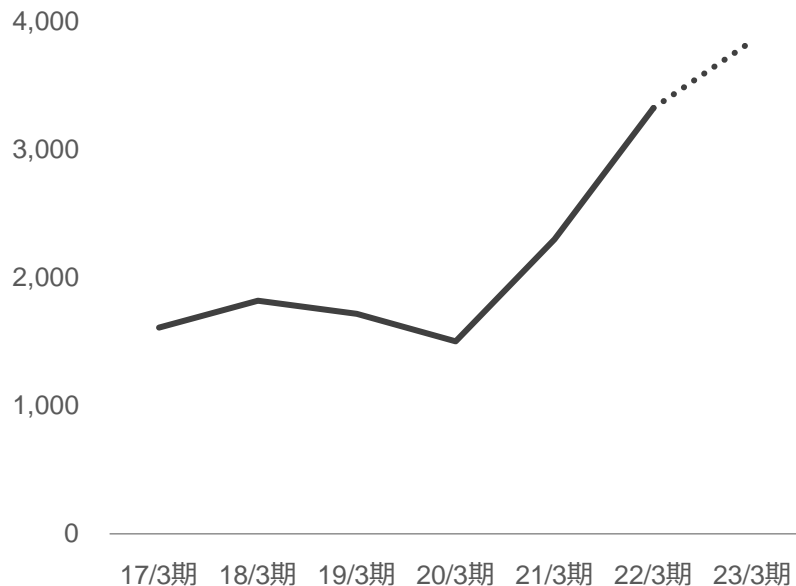
期待していたよりも
リターンを出せていない

PBRが1倍を超える

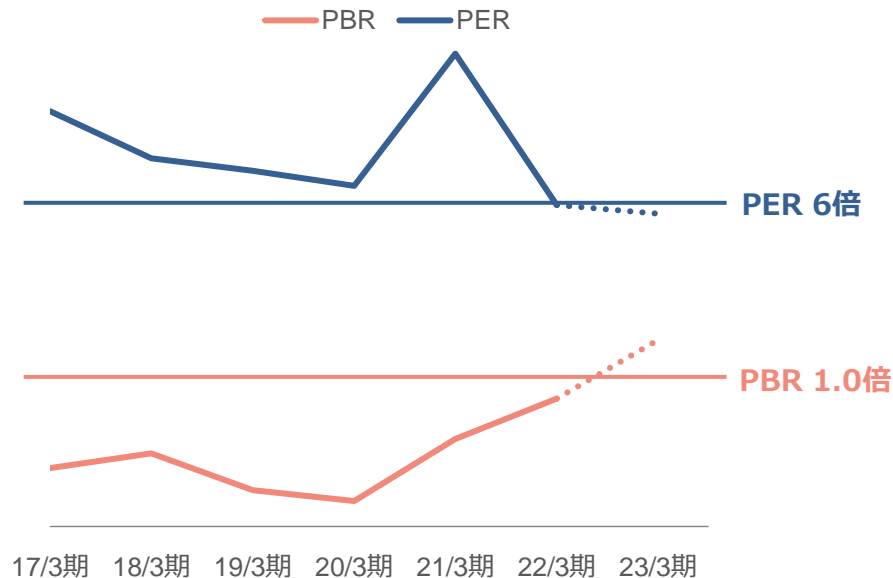
PBRが1倍を超えない

株式市場の評価

株価推移 (17/3~23/3期^{*1})



PBR^{*2}・PER^{*3}推移 (17/3~23/3期)



*1 23/3期株価は23/3期3Q末（2022年12月30日）の東証終値

*2 23/3期のPBRは、23/3期3Q末時点の株価（東証終値）、発行済み株式数及び純資産（親会社の所有者に帰属する持分）から算出

*3 23/3期のPERは、23/3期3Q末時点の株価（東証終値）、発行済み株式数及び当期利益予想から算出

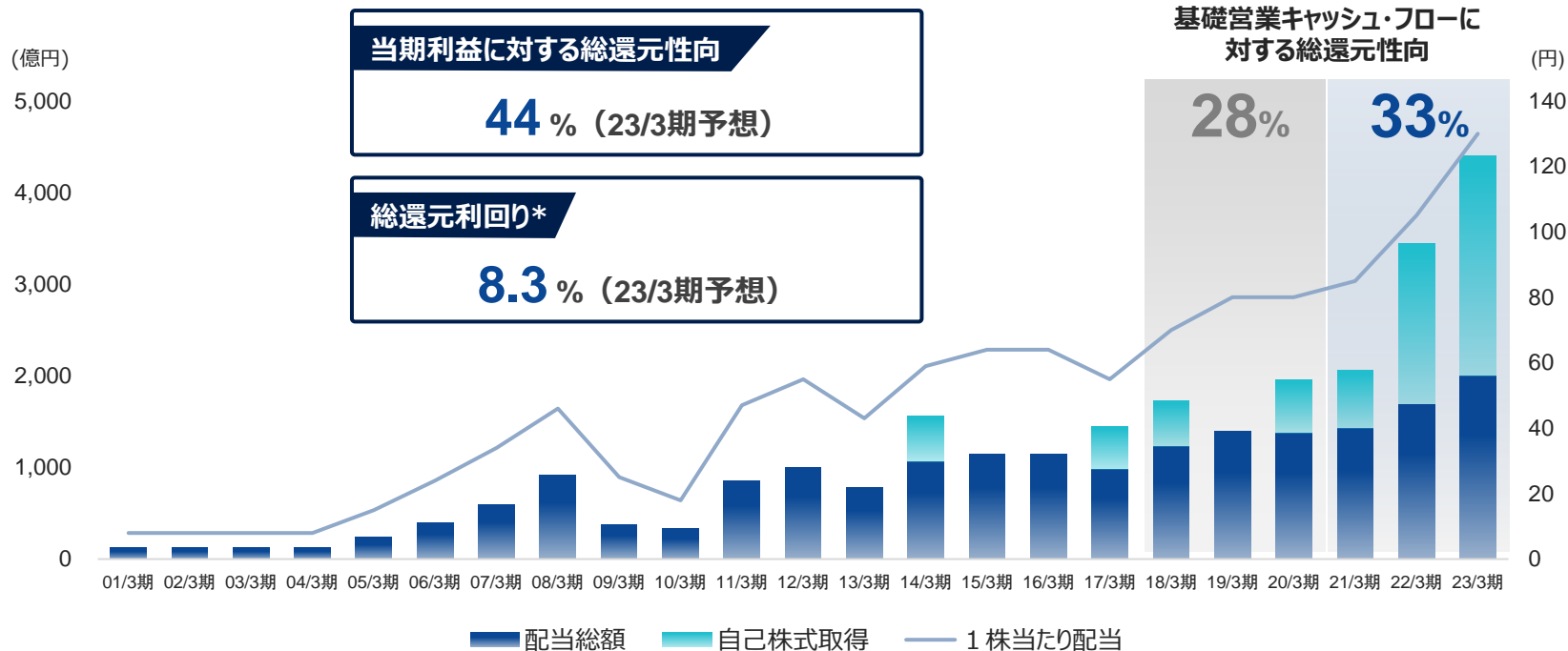
過去20年間にわたり株主還元を拡充し、1株当たり配当は年率15%（複利）成長



総還元額

約5,000億円

1兆円超



* (配当総額 + 自己株式取得総額) ÷ 時価総額 (2023年3月20日時点)

市況に左右されにくい事業*の収益力が向上

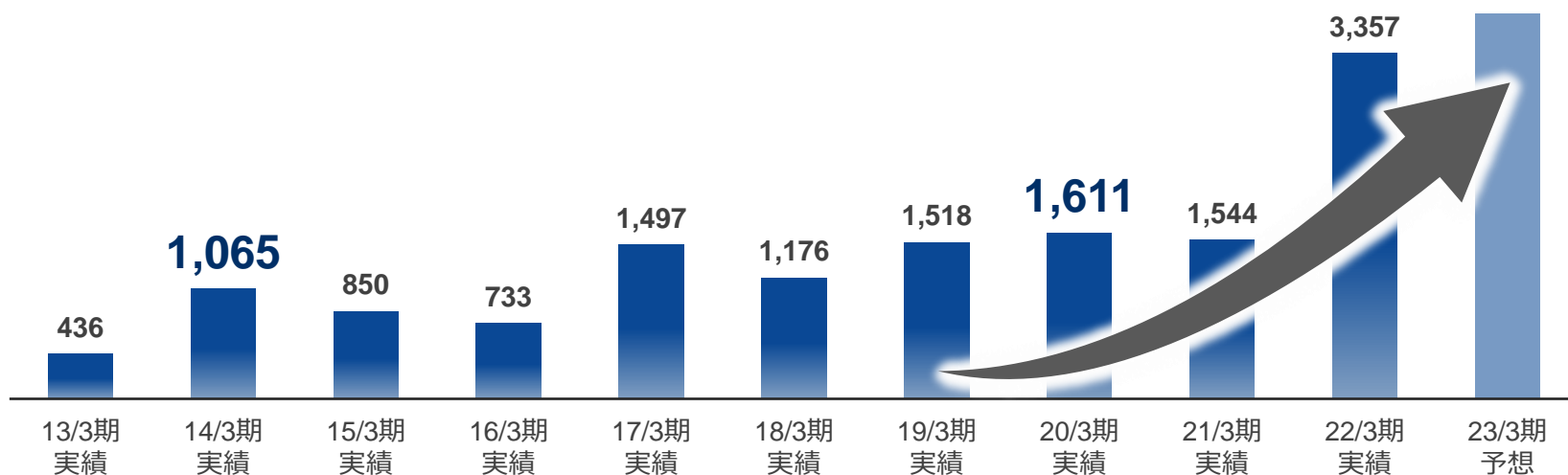


(単位：億円)

当期利益に占める比率

35%

3,750



* 機械・インフラ、化学品、鉄鋼製品、生活産業、次世代・機能推進セグメントの含まれる事業の当期利益

低い生産コストにより下方耐性を持つ金属資源事業

大手資源会社との共同運営・投資



圧倒的に低い生産コスト



Robe River鉄鉱山・豪州 (1972～)

投資決定時の徹底した規律と、投資後の厳しいモニタリング

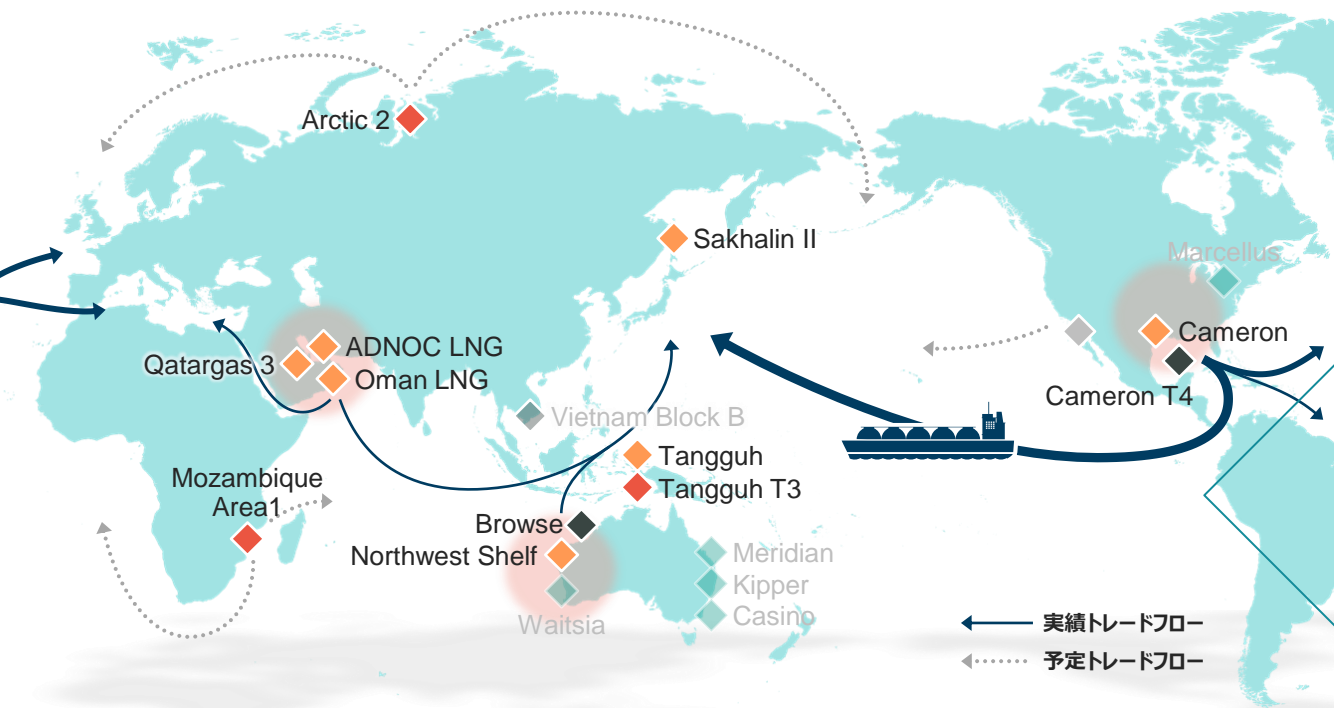
投資意思決定時の投資規律

投資実行済み案件のモニタリング

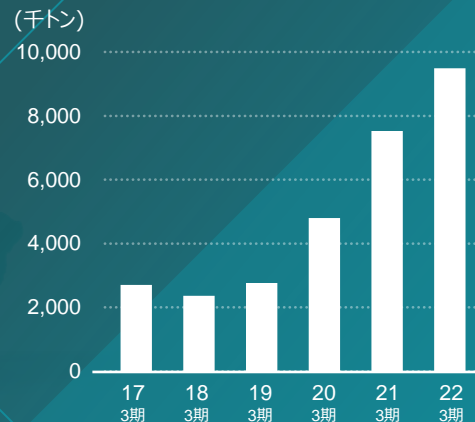
定量	連結IRR 10%以上（米ドル） リスクリターン20%等		ポートフォリオ管理年間サイクル	
	全体戦略との整合性	シナジー	Exit Path	地政学リスク
定性	将来CF*計画の蓋然性	リスク耐性	契約条件	その他
	投融資案件審議会（50億円～）		ポートフォリオ管理委員会	
会議体	経営会議（150億円～）		経営会議	
	取締役会（600億円～）		取締役会	

* キャッシュ・フロー

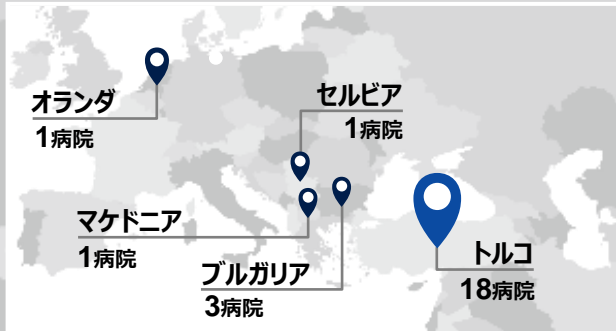
グローバルに広がりをもつLNGトレーディングポートフォリオ



LNGトレーディング 取扱数量推移



アジア最大の病院グループ IHH : コロナ後も安定成長



当社出資 (2011年以降)

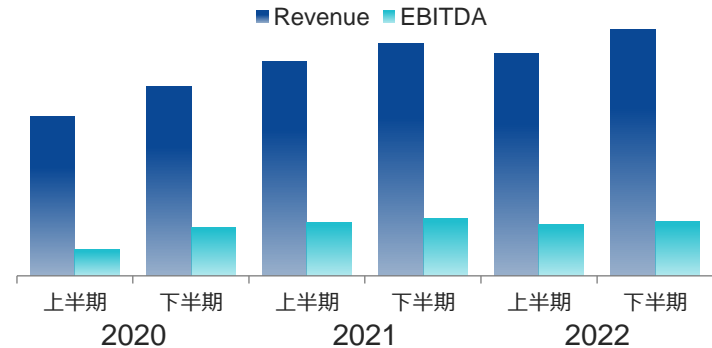
病院数 16 → **82 病院**  No.1

総病床数 3,500 → **15,000 床**  No.1

EBITDA 218 → **920 USD mil** (2022年)

※上場しているアジア民間病院における比較 (当社調べ)

コロナ後も収益・EBITDA共に安定成長



北米自動車事業Penskeグループ：コロナを機会として飛躍的に成長

Penske Automotive Group, Inc. (PAG)

- 2001年出資参画、出資比率18.7%
- 新車・中古車販売・アフターサービス等
- 正規販売代理店
(米国151店舗、英国135店舗)



プレミアムブランド取り扱い比率：約 **7** 割



- BMW / MINI (26%)
- Audi (11%)
- Mercedes-Benz (10%)
- JAGUAR
- LAND ROVER
- PORSCHE
- LEXUS
- FERRARI

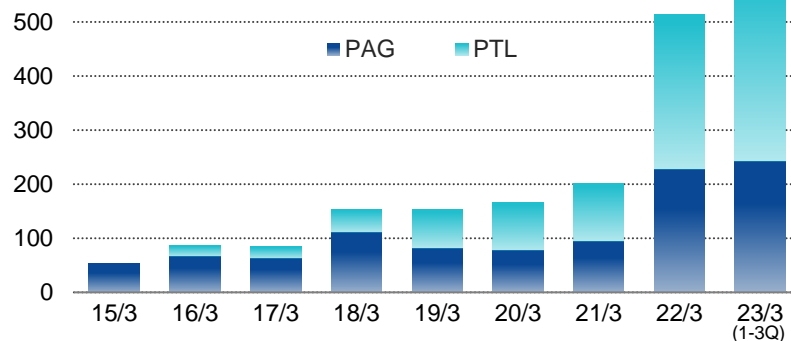
Penske Truck Leasing Co., L.P. (PTL)

- 2015年出資参画、出資比率30%
- トラックのサービス付リース、レンタル、保守請負事業等
- 北米トラックレンタル / リース業界でトップシェア



Penske2社による収益貢献

(単位：億円)

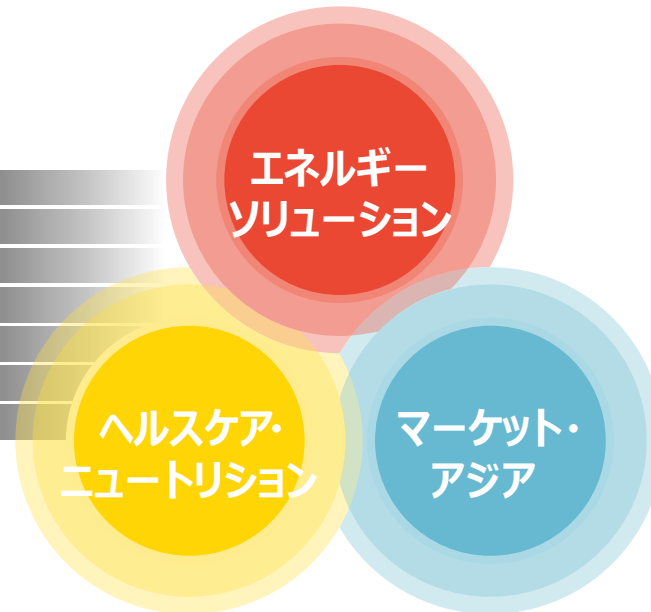


3つのStrategic Focus（戦略的注力領域）

オペレーティング・セグメント

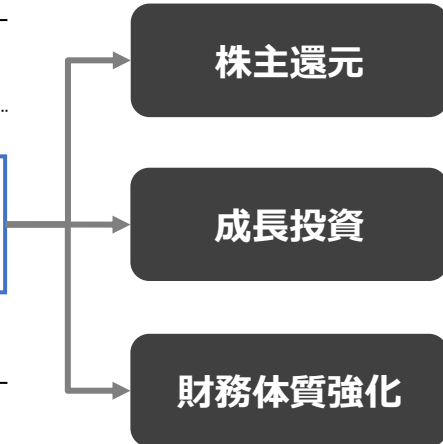


Strategic Focus



バランスの取れた資金配分

(単位：億円)

		中期経営計画 (2020年5月公表)	▶	2023年2月時点 見通し	
IN	基礎営業CF	15,000		30,200	
	資産リサイクル	9,000		7,800	
既存事業維持 等		15,000~17,000		15,000	
OUT	成長投資				
	自己株式取得	3,000~5,000	▶	マネジメント・アロケーション 17,800	
	配当	4,000		5,200	

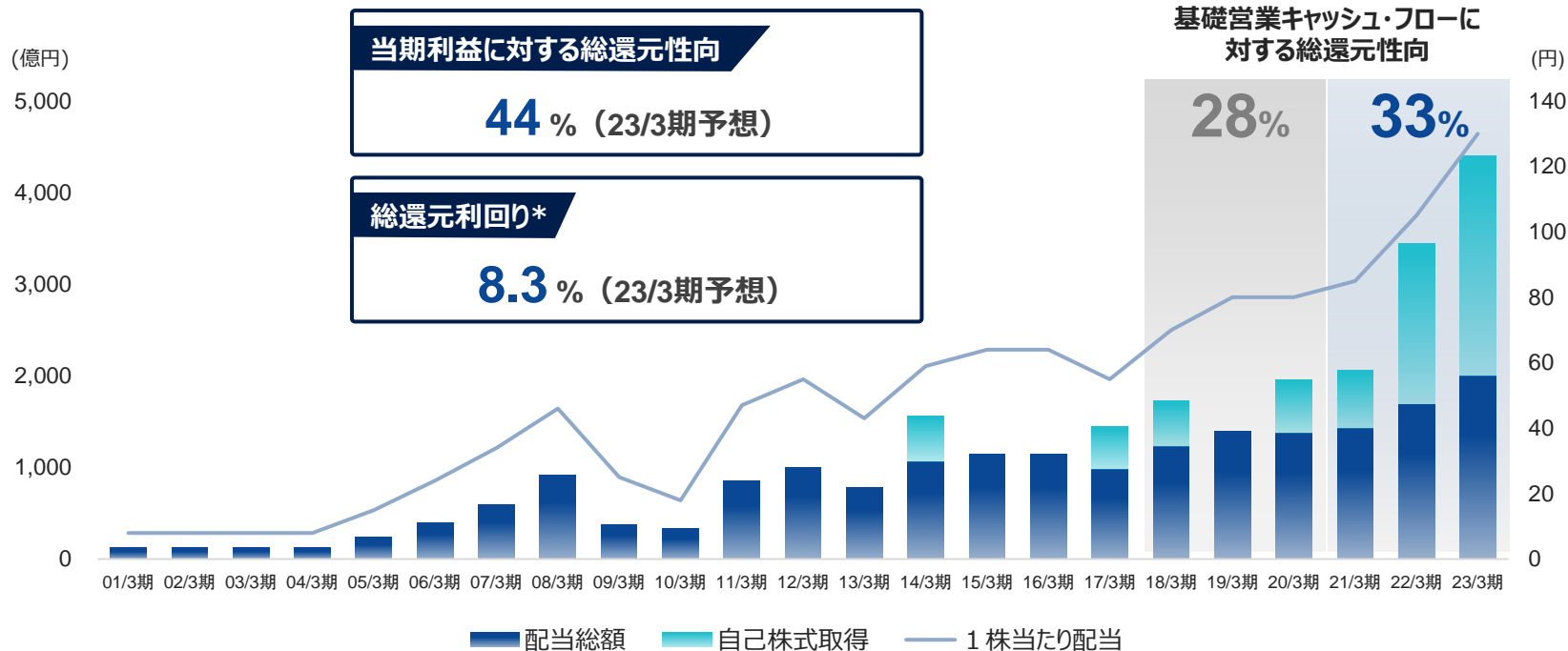
過去20年間にわたり株主還元を拡充し、1株当たり配当は年率15%（複利）成長



総還元額

約5,000億円

1兆円超



* (配当総額 + 自己株式取得総額) ÷ 時価総額 (2023年3月20日時点)

360° business innovation.



MITSUI&CO.